

その治療計画は正しいですか？

—ライフステージを考えた治療計画の立案とその考え方—

- 日 時：2018年**10月21日**（日）9:30～15:30
- 講 師：岩田 光弘先生（さくらデンタルクリニック 岡山市開業）
- 座 長：綾坂則夫先生（坂出市開業）
- 会 場：ホテルマリパレスさぬき（高松市福岡町2-3-4）無料駐車場有
- 参加費：会員 5,000円（他県の保険医協会の会員含む） 未入会員 10,000円（昼食付）
- 定 員：50名（先着順）

事前にお振込みください 百十四銀行 本店営業部 普通 0595754 香川県保険医協会 会計 梶義照

～香川県保険医協会の先生方へ～

このたびは、香川県保険医協会主催、歯科セミナーの講師としてお招きいただき、ありがとうございます。私は大学卒業後まもなく、香川県綾歌郡綾川町（旧綾上町）の歯科医院で約15年、仕事をさせていただきました。そこで、多くのことを学ばせていただいたと同時に当時の岡山大学歯学部矯正科の黒田晋吾先生（故人）と出会い、多くの歯周炎や歯の欠損を有する不正咬合の患者さんに対して、包括的な歯科治療を実践することで、安定した治療結果を得ることできることも経験しました。今回は、そのあたりの歯周病専門医と矯正専門医との連携の重要性についてのお話もさせていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願致します。

略 歴

1990年 岡山大学歯学部卒業
1990年 岡山大学歯学部口腔外科学第二講座入局
1995年 綾上歯科診療所院長
2000年 博士（歯学）授与（岡山大学）
2000年 医療法人社団綾上歯科診療所理事長
2006年 さくらデンタルクリニック開設
2010年 JIADSペリオコース講師
2014年 医療法人社団さくらデンタルクリニック理事長
日本歯周病学会歯周病専門医・指導医
日本臨床歯周病学会・認定医・指導医
日本臨床歯周病学会・歯周インプラント認定医・指導医
日本口腔インプラント学会専門医



【講演抄録】

日常診療では、初期のう蝕や歯周病など、複雑な治療計画を必要とせず、基本的な治療を行うだけで、対応可能な症例も多く存在します。しかしながら、中等度以上の歯周炎や多数歯におよぶ歯の欠損が存在する症例、また不正咬合が認められ、それが歯周炎の進行や歯の欠損の原因となっている可能性がある症例などについては、治療を行う上で、複雑な対応を迫られることも多くなると思います。このような複雑な問題をかかえた症例に対しては、様々な治療方法が存在し、患者さんの希望によっても、術者サイドが提供できる治療オプションによっても、その対応は大きく異なってきます。特に、インプラント治療や高額な審美補綴を提供する場合、術者側も患者さんも治療結果が長期的に安定することを望んでいることは、疑いの余地はありません。そのためには、現状に至った原因を十分に考察し、それを患者さんにも十分理解していただいた上で、的確な診断のもと適切な治療計画を作成する必要があります。そして、治療結果が長期的に安定するためには、科学的根拠に基づいた治療コンセプトが存在し、それを実践するとともに、各々の症例にあわせた明確な治療ゴールを設定する必要があります。この最終的な治療ゴールは、術者側だけで決定することではなく、必ず患者さんの経済的な事情、治療期間や治療方法に対する要望、そしてライフステージを含めて決定する必要があり、理想的な治療計画（プランA）から一部妥協的な治療計画（プランB）まで幅広く存在します。

今回は、治療結果の長期的な安定を目指す上で、プランA治療計画の立案方法や考え方、部分的に妥協したプランBのゴールの与え方と実践方法など、文献的考察や自身の臨床例を提示しながら、解説したいと思っております。会員の先生方の臨床に役立つ内容になることを期待しております。

10月21日歯科セミナーお申込みは香川県保険医協会へFax下さい 087-802-1336

医院名	ご氏名
ご住所	fax